

熱波甲子園審査内容・得点

総合得点（実技得点＋演舞・熱ッスル得点）

A+B=実技得点

風速競技審査内容 1チーム最大1名

A=（3回あおいで各回最高値の合計が得点）（例・2.6+3.3+2.2=8.1点）

審査員2名 記録1名 風速測定設定値 km/h

公式バスタオル使用（主催者用意）

風速計と熱波師の足の間隔1m 開始前に審査員が風速計・足の位置確認。



- ・ 審査員1人は椅子に座り胸元の高さで風速計を持つ。風速計は1mライン上とする。
- ・ 公式バスタオルで3回あおぐ。
風速計に触れたり、1mラインから足が出たらその時点で失格。
その時の数値は得点にならず。その前のは得点となる。
- ・ 1回ごとの最高値が得点。最高値を発表。
- ・ もう一人の審査員は後方から数値を確認します。互いに声に出してください。記録委員が記録。
- ・ 最高値3回分を合わせた数値が得点。

ペットボトル落とし競技審査内容

1チーム最大1名

B= (落とした数×3点) 最大30点 (2本落として6点)

※1回目2回目連続 (1回ごとにリセットせず)

審査員2名 (テーブル横) 記録1名

公式バスタオル使用 (主催者用意)

テーブルサイズ (折りたたみ) 幅700mm×横440mm×高さ671mm程度



↑
テーブルと
熱波師の
距離は問わないが
正面・横から以外
は不可。
←
正面から見た
画像



テーブルサイズ (折りたたみ)
幅700mm 奥行440mm
高さ670mm 程度

サントリー天然水
2Lペットを
ボーリング状に
縦置き
水10センチ

- ・ボーリング状に10センチの水入り2Lペットボトルをテーブルに置き、
公式トレーニングバスタオル2回あおいで
審査員はペットボトル・テーブルにバスタオルが触れないかチェック。
- ・触れたらその時点で失格。そのあおぎで落ちてもカウントされず。その前のはカウントに入る。
- ・審査員2名が両サイドからチェック

C+D=演舞・熱ッスル得点

おもてなし演舞競技審査内容 最大3名5分

C=(審査員1人最大3点×6人) (例・審査員2人が2点、4人が3点=16点)

審査員左右サウナ3名ずつ

左右サウナで同じ演舞内容をおこなうこと。左右サウナ同じ人物が参加すること。

タイムキーパーが終了1分前、30秒前ドアをあけてパネルとCALL

- ・石、アロマ無し。アロマ不可。 火気厳禁
音楽は著作権フリーのみ 電源の必要なものは不可 ※持ち込み機材・音源は予めJSNAへ詳細申請。
- ・演舞内容は実際の温浴施設で開催した内容、またはこれからであれば甲子園後1ヵ月以内に実際の温浴施設で開催すること。可能な範囲で動画に収め公開しJSNAに連絡すること。
期限内に公開されない場合順位取り消し失格。
- ・温浴施設での熱波に向いている内容であること。・風がきちんと送られていること。
- ・目の前のお客様を楽しませようとする努力。 ・お客様に移動を促したり、ぶつかったりしないこと。
- ・サウナ内のお客様の表情(健康状況)をチェックしていること。

熱ッスル競技審査内容 1名4分

D=(審査員1人持点3点を対戦チーム振分け×審査員6人)

審査員サウナ3名ずつ レフリー1名

双方合わせ警告3回で即対戦終了、双方審査員得点0点

左右サウナ同じ人物が参加すること。

タイムキーパーが終了1分前、30秒前ドアをあけてパネルとCALL

- ・アロマや蒸気や音楽。機材など一切使用不可。公式バスタオルのみ使用可。
- ・熱波師は客席側、サウナヒーター側を向かず熱波師どうし向き合い、バスタオルを全力で振り風を送りあう。
- ・風を送りながらお客様に楽しんでもらえるトークをおこなう。誹謗中傷双方無言不可。
お客様へあおり不可。
- ・熱波師どうしのバスタオルが触れること警告。体を相手熱波師の方向以外にむけること警告。
- ・会話のつまらなさ、タオルをふり続けることのできないなど、警告ののちレフリー判断で終了とすることあり。
- ・双方合わせ警告3回で対戦終了、双方審査員得点0点
- ・審査員は以上を踏まえて、お客様目線で楽しめたかを採点する。「満足度」

総合得点(実技得点+演舞・熱ッスル得点)